



(今月は61年11月21日から12月20日まで)に届出を済ませたものです。

うぶごえ (出生)

あかちゃん	誕生月日	保護者	住所
伊藤 里沙	11.15	信博	和 2
本間 望	11.15	昌典	和 7
吹井 慎	11.19	亮一	栄 栄
金川 奈津	11.19	達也	南谷内
皆川 泰典	11.29	浩之	岩 室
田中 潤	12. 7	司	夏 井
栗上 弥子	12. 7	淑浩	和 9
澤川 節	12.12	和	井 11

おめでた (結婚)

結婚した人	前住所	新住所
加藤 良明	和 3	和 3
(阿部) 由美子	夏 井	石 瀬
渡邊 洋一	石 市	石 橋
(外山) 美雪	燕 本	夏 井
後藤 高明	分水町	和 12
(本間) 洋子	夏 井	
遠藤 照夫	中之島町	
(吉田) ひとみ	和 12	
伊藤 武彦	寺泊町	
(近藤) とき		

おくやみ (死亡)

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
齋藤 正吉	63	11.22	ト 司	岩室
皆川 ユリ子	54	11.26	昭 裕	岩室
有坂 豊義	76	12. 8	豊 裕	久保田
佐藤 栄三郎	70	12. 8	和 1
荒井 辰平	78	12. 8	勇	高畑
山上 誠太郎	69	12.12	二 巳	夫 金池
阿部 寅男	66	12.13	和 夫	油島
藤田 ヨイ	76	12.15	光 男	橋本
小林 ハリ	81	12.17	豊 治	西 中
草野 マサ	84	12.19	市	栄

(敬称略)

暮らしの健康

「がん予防のために」

たばこの紫煙は死煙!?



新シリーズ(10)

文責/保健婦

先回に続き、「がんを予防するための注意点をお話ししましょう。」

たばこは少なくする

たばこががんの間には、深い関係があることは、みなさんもお存知のことと思います。四十歳以上の男性、十三万人以上を長期間にわたって調査した結果、一日二十五本以上のたばこを吸う人は、全く吸わない人に比べ、喉頭がんは九十倍以上、肺がんは七倍以上の死亡率になることがわかっています。

しかし、禁煙すればがんになる危険性はそれ以上増えず、禁煙後五年くらいたつと、ほとんど吸わない人と同じくらいの状態に近づきます。



まわりの人も迷惑

最近では、吸っている本人だけでなく、周囲の人に与えるたばこの害が問題視されています。紙巻たばこの火の付いている方から出る紫色のたばこ煙は、吸い口から出る煙より、ある種の発がん物質については含有量がかえって多いことが知られています。



肺がん発生率は上昇

日本でも諸外国と同様、肺がんの発生率が年々増えています。肺がんの予防には禁煙が一番です。どうしても、という方でもできるだけ吸う本数を減してください。また肺がんは、たばこを吸いはじめる年齢が低いほど発生しやすいこともわかっています。未成年の喫煙には、まわりも気を配ってほしいものです。



国民健康保険

保険税は全体の医療費が上がる就上ります

昭和60年度(60年4月~61年3月)の岩室村国民健康保険の状況をお知らせします。数字ばかりで見にくいと思いますがご了承ください。

●1人当たりの診療費(老人分は除く)一般者... 100,658円、退職者... 180,619円 ●1人当たりの高額医療費/一般分... 7,794円、退職者... 9,271円 ●1人当たりの保険税/一般者... 44,755円、退職者... 49,587円です。なお、国保加入者は3,982人(うち一般者3,058人、退職者307人、老人617人)です。

クレジット時代

これだけは知っておこう

Q 数か月前、学習教材のセールスマンをして友人に「絶対に迷惑はかけないから名前だけ貸してほしい」と頼まれ、名義を貸しました。ところが、先日、信販会社から代金を支払うようにと催促がきました。連絡しようにも、友人は行方不明で困っています。どうしたらよいでしょうか。

A 他人に名義を貸す、いわゆる「名義貸し」にかかわるトラブルが、最近たいへん増えています。

代金の拒否できる名義貸し請求をしない場合も

「個人割賦購入あっせん契約」立替払い契約を悪用したものです。この場合、信販会社からの代金支払請求が名義を貸した人に対して行われることになるのです。

名義貸しのトラブルが多いのは、ご相談のように、知人や友人に頼まれて断りきれなかったというものです。

一方、資金ぐりに困った販売店などが、セールスマンを使って会社ぐるみで知人の客などからいくつもの名義を借り、支払い不能になった時点で会社は倒産、責任者は逃亡、支払い請求は名義を貸した人へという、悪質なケースも急増しています。



主人に内緒で毛皮のコートを買いたいので名前を貸してと親友に頼まれ、心よく応じたところ、その友人の支払いがとどこおり、クレジット会社から名義を貸した人のところへ矢の催促!というケースなど、名義貸しの典型例といえます。

主人に内緒で毛皮のコートを買いたいので名前を貸してと親友に頼まれ、心よく応じたところ、その友人の支払いがとどこおり、クレジット会社から名義を貸した人のところへ矢の催促!というケースなど、名義貸しの典型例といえます。

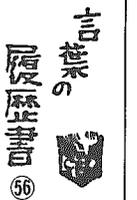
避けたい安易な名義貸し

名義貸しは、欧米にはない日本特有のものといわれ、義理人情を重んじる日本人の国民性の表れであるとも考えられます。しかし、いったんトラブルが発生すると、名義を貸した人は金銭的に大きな被害に遭うことがありますし、場合によっては、お互いの人間関係が崩れて精神的にも痛みを受けることになりま。

名義貸しに安易に応じて深い傷を負う危険性を考えれば、一時的には気まずい思いはしても、やはり最初にはっきり断ることが大切です。

また、いくら親しい間柄であっても、印鑑などを預けることは絶対に避けるようにしましょう。

お年玉



現代つ子にとって、正月はお小遣いの書き入れ時。「お年玉」がバカにできない額になるようです。「年玉」は新年の賜り物の意とされていますが、「賜」に「玉」の字があてられているところから、いろいろな説が考えられています。

「玉」は丸い形をしたものの総称で、珠のように美しいもの、大切なものの意味にも使われてきました。「魂」「霊」と語源が同じではないかとされるゆえんです。

年のはじめに家長が家族に与える年玉は、お金や日用品になる以前は食物に限られていたよう、朱や丸餅などが用いられました。

民俗学では、年頭に餅を神に供え、それを家族に配ると、神の霊威が一人一人に分け与えられたものとしています。

民俗学者の柳田国男(一八七五~一九六二)の説によると、丸餅はもともと心臓の形を模したものでした。丸餅の年玉には、丸い意味の「玉」と、心を意味する「霊」の両義がこめられていたことになりました。そうしたお年玉の精神的な意味、見直す必要があります。